



ドラマグループによる啓発活動



袋に小児を入れて体重を測定 →

診療の際、小児の体重を測定している様子

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第39号 (H27.3.12)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



**はじめに** 平成 27 年も 3 月となりました。宮崎では山桜が咲き、木蓮の蕾が開いています。日本は南北に長いので各地の様子も様々かと思えます。

今回は、去年の経過のまとめと通常総会で承認された活動報告、決算、そして、27 年の活動計画をお伝えします。

### 会の経過報告 (26 年まとめ)

- ・ 2 月 8 日、平成 26 事業年の活動報告、決算報告等を取りまとめて、理事会を開催、承認
- ・ 2 月 10 日、山元香代子先生のザンビアでの活動が日本テレビ「世界、なぜそこに？日本人」で放映
- ・ 2 月 15 日、通常総会を開催し、活動報告、決算、27 事業年度活動計画、活動予算を承認
- ・ 3 月 20 日、山元香代子先生が公益財団法人大山健康財団から大山奨励賞を受賞
- ・ 3 月 22 日、認定 NPO 法人申請のため総会議決事項の修正、役員再任のための臨時総会を開催、承認
- ・ 4 月 12 日、日本小児科学会にて山元香代子先生が「ザンビアでの巡回診療活動」について特別講演
- ・ 4 月 16 日、認定 NPO 法人申請書類の提出 (27 年 1 月 28 日に認定されました)
- ・ 4 月 19 日、NPO 法人日本医学歯学情報機構と「募金機能付き自動販売機」に関する協定を理事会に諮り、承認 (その後会員、賛助会員等の皆さんに自動販売機の設置について協力依頼)
- ・ 5 月 22 日、理事の変更 (再任) 等について法務局へ登記
- ・ 6 月 1 日、ルアノ地区での井戸掘削計画の変更のための臨時総会開催し承認 (1 基→2 基)
- ・ 10 月 5 日、ルアノ地区での井戸掘削計画再変更のための臨時総会開催し承認 (2 基→5 基)
- ・ 色々なことがありましたが、なんとといっても 2 月のテレビ放映のお陰で、全国の多くの皆さんから多大なご支援をいただくことができ、井戸掘削ができました。

改めて心から感謝申し上げます。

\*井戸の使い方を指導中→



## 26 事業年の活動報告、決算及び 27 事業年度活動計画、予算案について

### 事業の主な成果（詳細はホームページで）

- ①巡回診療事業をチサンバ郡ルアノ地区で月 2 回 計 24 回、ムワンタヤ地区で月 1 回、計 12 回継続実施した。また、新たにニャンカンガ地区で 6 月から月 1 回開始、計 7 回実施した。延べ 43 回実施。
- ②ムワンタヤ地区で、住民が建設した建物に、セメント・屋根・窓・窓ガラス・グリルドアなどを提供し、患者ファイルを保管する倉庫として、また診察室、会議室として機能できる建物がほぼ完成した。
- ③コミュニティヘルスワーカー（CHW）研修後期分を 5 月に実施し、11 名のコミュニティヘルスワーカーが誕生した（1 名は他の会合に出席していて参加できず、カナカンタパ地区から 1 名が後期分のみ出席した）。
- ④3 地区では地域住民に対して、マラリア予防と下痢予防（ルアノ地区では井戸の使用法を追加）に関する保健衛生啓発活動を実施した。
- ⑤コミュニティヘルスワーカー（CHW）やネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）のメンバーの活動を資金面でも支援するために、彼らの収入創出活動を実施した。
- ⑥ルアノ地区で、6 月に 2 基、11 月に 3 基の井戸を建設し、水質検査も問題なく住民が使用している。
- ⑦三重大、藤田保健衛生大学、滋賀大学、徳島大学、浜松医科大などの医学生、看護学生、薬学部学生、医師が巡回診療活動を見学した。

\* 学生達が子ども達に折り紙をしているところ→

- ⑧広報活動として、活動内容を伝えるニュースをメールで、計 15 回送信すると共に適宜ホームページの更新を実施した。



地区名	ルアノ (24 回)	ムワンタヤ (12 回)	ニャンカン ガ(7 回)	全体総数(一部 不明あり)
新受付患者数	845	673	682	2,200
診療患者数	2,516	1,533	954	5,003
5 歳未満児数	903	611	286	1,800
疾患別患者数				
マラリア(疑い)	808(18)	204(11)	88(4)	1100 (33)
マラリア検査陽性数/総数	808/1571	204/664+?	88/287	1100/2522+?
5 歳未満児マラリア検査陽性数	292/599	61/256+?	25/92	378/947+?
急性胃腸炎/下痢症	173	143	111	427
気道感染症	604	532	347	1483
原因のはっきりしない発熱	217	77	21	315
胃炎	96	81	69	246
結膜炎	176	164	100	440
頭痛	197	147	95	439
腰痛などのからだの痛み	159	165?	69	393+?

う歯	128	40	59	227
皮膚疾患	150	123	52	325
高血圧症	21	29	24	74
寄生虫疾患	42	47	41	130
ビルハジア	21	6	3	30
赤痢疑い	29	10	8	47
貧血	22	17	14	53
外傷	24	25	11	60
てんかん疑い	17	2	11	30
他	174	153	81+?	408+?
妊産婦健診・家族計画				
妊産婦健診受診者数	275	181	62	518
家族計画受診者数	155	104	26	285
HIV/AIDS 検査陽性数/総数				
	25/162	12/57	3/31	40/250

\*5003名の診察と518名の妊産婦健診で総計5521名を診療しました

### 事業決算報告

- ・経常収益 会費・賛助会費収入が4,503,000円、寄附金収入（延べ240名から）が9,705,035円で、雑収入を含め、14,616,768円の収益となりました。
- ・経常費用 井戸建設費3,729,201円、薬剤購入費2,155,847円、車両維持経費（保険含む）1,007,480円、旅費交通費（現地ガソリン代やザンビア渡航費含む）1,570,528円、啓発・研修費270,129円、人件費（現地での雇用、臨時雇いあげ費）1,793,841円などで、総計11,985,736円でした。
- ・この結果、当期正味財産として2,631,032円の増額となり繰越正味財産は6,664,055円となりました。

### 事業計画、予算

- ①本法人の活動目的を達成するため、巡回診療事業、地域住民への保健衛生啓発事業を継続する。
  - ②巡回診療は、ルアノ（月2回）、ムワンタヤ、ニャンカンガ（それぞれ月1回）の3地区で実施する。
  - ③ニャンカンガ地区で、住民が建設予定の倉庫兼診察室の建物に、セメント・屋根・窓・窓ガラス・グリルドアなどを提供し完成させる。
  - ④妊産婦の安全なお産を支援するためのコミュニティボランティア研修を実施すると共に、コミュニティヘルスワーカー（CHW）とネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）の活動を支援し、地域住民に対する保健衛生啓発活動を実施する。
  - ⑤CHW及びNHCの収入創出活動を実施する。
  - ⑥安全な飲料水確保のため、さらにルアノ、ムワンタヤ、ニャンカンガ地区に深井戸を各2基ずつ建設する（なお寄附の状況により理事会で建設基数等の変更を行う）。
  - ⑦巡回診療に使用する車が悪路使用により老朽化が著しいため、新たな車を購入する。
    - ・以上を活動計画とし、そのための予算として、経常収益を15,060,000円とし、井戸掘削6基、巡回診療の薬剤購入費、車両維持、旅費交通費、啓発・研修費等14,488,916円を経常費用としています。
- \*詳しくはホームページをご覧ください。（<http://ormz.or.jp/>）

## 現地活動報告(山本ひとみさんから)

@2月11日 ルアノ (配車：2台)

同行者：Mr.Muleta, Ms.Elizabeth, Mr.Sibanda, Mrs.Chibulika

患者数：110名 主な症状：咳、下痢、マラリア陽性16名

2014年11月から現在に至るまで、5歳以下の子どもにワクチン接種が行われていません。事前にアレンジしていても、チペンビクリニックのスタッフが多忙を理由に当日キャンセルが続いているようです。

帰路カナカクタパ近辺でバルーン車が故障。ブレーキディスクが完全にダメになり、タイヤを止めているボルトが外れたため、タイヤが外れ、立ち往生。スペアタイヤのボルトで仮止めし、ルサカまでゆっくりゆっくり、何度もボルトを締め直しながら走って帰ってきたそうです。そのため、帰宅は24時。

@2月18日 ニャンカンガ (配車：2台)

同行者：Mr.Muleta, Ms.Elizabeth, Mrs.Chibulika, Mr.Sibanda

患者数：180名 主な症状：咳、下痢、目の痛み、マラリア陽性20名 (検査70名)

患者数も多かったため、現地出発は19:30。

マラリアを疑った人が多かったが、検査の結果、陽性と出た人は比較的少なかった。

@2月25日 ルアノ (配車：2台)

同行者：Mr.Muleta, Ms.Elizabeth, Mr.Sibanda, Mrs.Chibulika, Mr.Mwiinga

患者数：96名 主な症状：咳、下痢、マラリア陽性20名

ワクチン接種に来た母親数：40名 (複数のこどもを連れいている人もいる)

行きはバルーン型車が、帰りはボックス型車がスタックし、牽引しあつてなんとか移動できたようです。帰りは23時になったと聞いています。2台ともスタックしなかったのが幸い。次回は道路状況を見て中止も念頭に置いて行動するように、再度徹底するようにします。

賛助会費の納入について 新しい年となりました。NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業年度は1月から12月です。どうぞ賛助会費(個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上)のご協力をよろしくお願いいたします。入金を確認しました際には、日高からその旨のメールを差し上げていますので、メール連絡が無い場合は問い合わせの連絡をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

また、郵ちょ銀行以外の銀行からWEBで振り込まれる際は、できましたら付加情報として住所、氏名(漢字)を加えていただきますと対応しやすい(何もしないとカタカナの氏名のみ)です。よろしくお願いいたします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

平成27年もどうぞご支援のほどよろしくお願いいたします